

# 京丹波

議会だより

第54号

[平成 29年10月17日]

発行 京都府京丹波町議会

未来に向かってジャンプ  
(瑞穂中学校 体育祭)



## 9月定例会

2P 28年度決算

「味夢の里」の利用客数 当初計画の2倍

5P 補正予算

不足する介護人材確保のための支援事業など

6P 一般質問に11人

寺尾町政4年間の総括と3期目の出馬表明についてなど

17P 閉会中の委員会報告 交通網対策特別委員会 研修会の実施など

18P 臨時会 農業委員会等に関する法律の改正など

19P 追跡調査 小・中学生の通学バス代が無料化に

20P 人 (ひと) 谷 <sup>ふみえ</sup>文絵さん (質美中村区)



京丹波町

議会ホームページアクセス件数  
1,003,369件(H29.10.2現在)前号より1,742件増



# 予想を大きく上回る により農業所得が向上

## 平成28年度 一般会計決算収支状況

一般会計	収入額	支出額	差引額	翌年度繰越額	差引実質収支額
	114億7135万円	109億7678万円	4億9457万円	2億5170万円	2億4287万円

## 平成28年度末 一般会計貯金・借金

貯金 (基金)	46億2307万円	借金 (地方債)	147億90万円
------------	-----------	-------------	----------

## 【参考】平成17年度末(合併時) 一般会計貯金・借金

貯金 (基金)	18億548万円	借金 (地方債)	183億2372万円
------------	----------	-------------	------------

29年第3回定例会は、9月1日から25日まで開催されました。  
定例会には28年度会計決算、人事、補正予算など24議案が提案され、全議案を可決・認定しました。  
一般質問には11人が立ち、32項目について執行部の所見をいただきました。なお、本定例会には、延べ30人の傍聴がありました。

### 一般会計決算

28年度の一般会計決算認定議案が提案され、

質疑・討論・採決の結果、認定しました。  
〔賛成12 反対3〕

### 主な質疑・討論

#### 歳入関係

問 審査意見において求められている、収納率向上に向けた取り組みはどのように実施したのか。

【会計管理者】 口座振替や自動振替の継続した推進に加え、コンビニ納付を開始し、納付しやすい環境整備に努めている。

問 コンビニ納付の利  
用実績は。

【課長】 税関係では、27年度（10月より実施）の641件と比較し、28年度は7167件の利用があり、周知により大幅に向上した。

問 給食事業収入における、過年度分461万円、現年度分46万円の徴収対応は。

【教育長】 支払いが困難な状況に置かれている家庭の事情を聴取し、必要な手立てを講じるなど、徴収に向け努力している。

問 空き家実態把握事業  
業国庫補助金を対象とした事業内容は。

【課長】 全町を対象として空き家の調査を実施し、空き家システム作成に利用した。

問 収入未済額についてどのよう  
に分析しているのか。

【課長】 全体的には減少している。

しており、収納対策の取り組み結果が出ているものと考ええる。  
地方税機構による適正な滞納管理についても、その効果があらわれていると分析している。

問 道の駅「味夢の里」  
は集客数が当初計画の2倍、売り上げが3倍となっている。

町の活性化施設としての効果は。

【課長】 農家の所得向上につながっており、かなりの経済効果がある。



農業所得の向上に大きく貢献する道の駅「味夢の里」

# 28年度 決算

# 道の駅「味夢の里」 利用客

## 歳出関係

**問** 要援護者支援システムの構築について、現在はそのシステムが完成し関係機関が共有したうえで、円滑な活動ができる状態にあるのか。

**課長** すでに必要な情報の入力を終えており、災害発生時には関係機関と同システムの情報と共有しながら活動できる体制を整えた。

**問** ふるさと意識調査の内容と調査結果は。

**課長** 地方創生加速化交付金を利用したふるさとに関する意識調査である。田園・山・川などの視覚によりふるさとを感じるという回答を得ており、今後の戦略に活用する。

**問** パークゴルフで使っている須知公園の草刈りの状況は。

**課長** 使用されているパークゴルフクラブに協力をいただき、町が

維持管理している。子どもたちが安全に遊べるように管理していきたい。

**問** 地域や時間・時期によりインターネットがつながりにくい問題がある。町としての方針は。

**課長** 財政状況をみて、計画的に進めなければならぬ。

**問** 町として町営バスのみでなく、JRバスの存続も考えるべきでは。

**課長** 通勤・通学などで大きな問題となるため、公共交通の基本と考えしっかりと守りたい。

**問** 学校施設の非構造部材の改修は完了したのか。

**次長** 体育館を含め、町内学校施設の耐震工事は全て完了した。

**問** 財政基盤を考えると、ハード面に重心を置き過ぎでは。

**町長** 非常に金利の安いこの機会に有利な財

源を活用している。正しい投資により、借金以上の資産を生み出しているという認識である。

**反対討論** 東 まさ子 議員  
合併特例終了の影響が6億8千万円に減少。人件費の抑制3億6千万円ですらに緩和。基金もあり暮らし応援を。

**賛成討論** 梅原 好範 議員  
本町の未来を見据えた事業執行がなされ、着実な成果を上げている。経常経費などのさらなる縮減を求め賛成。

**反対討論** 山田 均 議員  
この間の行政運営は、あまりにも町民の願いとはかけ離れ、大きく逸脱しており反対。

**賛成討論** 山内 武夫 議員  
医師確保や高校までの医療費助成、小学校のエアコン設置など、住民要望に沿った決算と評価し賛成。

**賛成討論** 北尾 潤 議員  
熊本地震後すぐに対応した、町内小・中学校体育館の非構造部材耐震改修工事などを評価し、賛成。

## 監査報告

前年度と比較して、各収支について改善した部分が見受けられる状況となっており、引き続き健全な財政運営に努められている。

普通交付税においては、今後も段階的に縮減されるため、より一層の歳入確保と財政健全化に向け、経常的経費の抑制など経費節減に引き続き積極的に取り組んでいくことが求められる。

また、滞納整理のための方策として、他自治体の収納事例を参考とし、弁護士など外部専門機関に法的な助言、指導を求めるなど、目に見えた収納率向上対策の強化が必要である。

町行政は、住民の福祉の向上が最大の目的であり、効果的かつ効率的な予算執行を図らなければならない点を申し添え、監査意見とする。

監査委員 篠塚信太郎



特別・病院会計決算

28年度の特別会計及び病院会計決算認定議案が提案され、質疑・討論・採決の結果、全議案を認定しました。

平成28年度 主な特別会計・公営企業会計決算額

主な会計	収入額	支出額	採決結果		
			賛成	反対	
特別会計	国民健康保険事業	22億6461万円	21億9139万円	12	3
	後期高齢者医療	2億1909万円	2億1642万円	12	3
	介護保険事業	23億7709万円	22億9299万円	12	3
	水道事業	15億7931万円	13億9504万円	12	3
	下水道事業	9億953万円	8億9931万円	全員賛成	
	町営バス運行事業	9626万円	9593万円	全員賛成	
公営企業	国保京丹波町病院事業	10億8018万円	14億2540万円	全員賛成	
	収益的収支	9億6155万円	10億670万円		
	資本的収支	1億1863万円	4億1870万円		

平成28年度末 特別会計貯金・借金

貯金（基金）	15億6742万円	借金（地方債）	157億735万円
--------	-----------	---------	-----------

主な質疑・討論

国民健康保険事業

**問** 29年度補正において、基金繰入金が減額されている。次年度からの傾向をどのように把握しているのか。

**課長** 被保険者の減少や医療の高額化など、依然厳しい状況にある。また、突発的な医療費の増加などが危惧されるなかで、いかに現状を維持するかが課題である。

**反対討論** 東 まさ子 議員

人数に応じてかかる均等割により、多子世帯は国保税が高くなる。子育て支援として、子どもの均等割の軽減を。  
**賛成討論** 松村 篤郎 議員  
国保事業の抱える課題の改革で、来年度から府に財政運営が一元化となる。希望のある改革を求め賛成。

後期高齢者医療

**問** 滞納者の徴収対応は。

**課長** 毎月の分納やコンビニ納付などで対応されている。

**反対討論** 坂本美智代 議員

低年金・無年金の低所得者は保険者の5割弱を占める。高齢者の医療と健康・暮らしを守るためにも反対。

**賛成討論** 鈴木 利明 議員

保険料は昨年を上回る99・7%と高い収納率となっている。この結果、実質収支は黒字決算であり賛成する。

介護保険事業

**問** 滞納により介護サービス制限、抑制は起きているか。

**課長** 滞納することによってサービスの自己負担が3割になる。現在2人が対象となっている。

**問** 地域密着型介護サービス給付費が増えて

いる理由は。

**課長** 18人以下のデイサービス事業所の地域密着型への移行と、認知症対応型デイサービスが開始されたためである。

**反対討論** 坂本美智代 議員

保険料が上がる一方で、必要な介護が必要な時に受けられないのが現実化。抜本的な制度の見直しを求め反対。

**賛成討論** 北尾 潤 議員

介護予防に力を入れていることを評価する。また、他会計事業との連携でより効果が出ることを期待し、賛成。

水道事業

**問** 起債の繰上償還または借り替えはできないか。

**課長** 手続きが可能か検討したい。

**反対討論** 山田 均 議員  
水不足の理由は企業の増量要望であったが、増えていない。見込み

違いが高い使用料金になっている。

**賛成討論** 松村 篤郎 議員  
水不足が解消された水道事業が、今年度より公営企業法により独立採算制となり、一層の努力に期待し賛成。

下水道事業

**問** 施設管理委託料に多額の不用額が出た要因は。

**課長** 昨年度に施設修繕を行い負荷が少なくなり、通常機能が復旧できたことによる。

国保京丹波町病院事業

**問** 起債の繰上償還の財源は。

**課長** 充当金は現金預金から支出した。

**問** 医師確保のための住宅建築の状況は。

**課長** 一般会計で基本設計を実施し、世帯用、単身用を検討している。

# 29年度 補正予算

# 不足する介護人材確保のための 支援事業に205万円

## 29年度補正予算

28年度繰越金や本年度の普通交付税などの確定による補正が主なもので、一般会計ほか5会計の補正予算を可決しました。

## 主な質疑・討論

### 一般会計

**問** 福祉人材確保対策事業として、今回介護人材の確保に対する支援の費用が計上されているが、その内容は。

**課長** 施設などで勤務する職員の介護福祉士や、介護職員初任者研修の資格取得のための支援事業である。

また、施設向けの支援として、職員募集に関する広報などの経費を助成する。

**問** 農林水産業費のアドバイザー業務委託料の内容は。

**課長** アドバイザーを1人採用し、伐採の工

程管理のなかでコストダウンにつなげる。

**問** 須知水辺公園の水路の排水対策を講じるべきでは。

**課長** 今回整備するなかで撤去できるものはない。今後の維持管理も検討したい。

〔全員賛成〕

**賛成討論** 梅原 好範 議員

補正内容の全てが住民の不安軽減と解消を目指しており、スピード感のある取り組みを評価し賛成。

## 人事 (敬称略)

人権擁護委員候補者

林 啓治 (質美)

新任

和久田 正八 (長瀬)

再任

〔全員同意〕



人材不足が慢性化している介護現場(町内事業所)

## 各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

平成29年9月定例会

審議結果	議員名 議案名など	坂本美智代	東まさ子	森田幸子	篠塚信太郎	山田均	山内武夫	山下靖夫	原田寿賀美	山崎裕二	村山良夫	岩田恵一	北尾潤	梅原好範	鈴木利明	松村篤郎
		可	28年度一般会計歳入歳出決算	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
可	28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	28年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	28年度水道事業特別会計歳入歳出決算	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対



# 一般質問 **ココが聞きたい!**

## 次期町長選 出馬の決意は



山内 武夫 議員

### 町長 一番良いタイミングで意思表示したい



先生の見守るなか、元気に遊ぶ園児たち(みずほ保育所)

**問** 今期4年間の課題への対応について、進捗や成果を問う。

**町長** 今日まで子や孫に誇れる町にするためがんばってきた。財政面では地方債残高を減少させるとともに、基金を増加するなど健全財政に努めてきた。

今後の課題は、認定こども園の整備や役場新庁舎の建設、安栖里地域をモデルにした景観を生かしたまちづくり

りなど、町独自の理想のふるさとづくりに取り組みたい。

**問** 次期町長選の出馬の決意は。

**町長** 諸準備を整えて、一番良いタイミングで意思表示をしたい。

**問** 町長の目指す町の将来像、次期町政運営の基本姿勢は。

**町長** 第2次総合計画により、将来にわたって森林、川、田畑をしっかり守る自給自足的

循環社会の構築を町政運営の基本にしたい。

#### 新庁舎建設について

**問** 現在、庁舎の規模や配置、全体事業費など詳細について協議中と聞くが、協議内容は。

**町長** 公募型プロポーザル方式で設計者を選定中である。検討委員会では住民の利便性、事務の効率化、サービス水準の向上など、ワンストップサービスの実現を目指す。

**問** 建設・維持コスト縮減に対するの検討内容は。

**課長** 面積の最適化、構造や使用材料の検討など、費用対効果も含めてコストの縮減に努めたい。

**問** 窓口業務のワンストップサービスにより、町民への利便性の向上は。

**課長** ワンストップサービスの実現により、1カ所で用事も済み、

部署間の連携により幅広い要望に対応できる。

**問** 庁舎建設場所の「ふれあい広場」周辺の排水対策を講じるべきでは。

**町長** 周辺地域を含む治水対策の測量設計業務に取り組んでおり、必要な対策を講じる。

**問** 瑞穂支所は昭和35年に建築され、バリアフリーが十分でなく耐震性も低い。保健福祉センターの活用も検討すべきでは。

**町長** 既存施設の活用も含めて、新庁舎の整備とあわせて別途検討したい。

**問** 現庁舎の跡地活用についての考えは。また、中央公民館も老朽化しているが今後の方針は。

**町長** 跡地活用は第三者機関を作って検討したい。中央公民館は、耐震性も含めて施設のあり方を検討したい。



北尾 潤 議員

# 夏休み期間中の 学童保育実施の反応は

**教育長** 安心して子どもを預けることができたと聞いている



学童保育の校内設置が望まれる(丹波ひかり小学校)

**問** 今年は夏季休業中に、学童保育「のびのび1組」がひかり小学校の校舎内の図書室で実施された。子どもたちや保護者の反応は。

「広い図書室や学校施設でのびのびと過ごせた。」など、子どもたちから喜んでもらえたのではないかと思う。保護者からは、「安心して子どもを預けることができた。」という声を聞いている。

「町長と語るつどい」  
においての内容を問う

**問** 耐震シエルトの補助要件が、「高齢者ま

たは障害者が居住し、昭和56年5月以前に建築の木造住宅」というのは、対象者が限られてくると思う。赤ちゃん、子どもがいる家庭も絶対に守らなければならない。

また、新築の家も対象にしたほうが、町外からの移住者などにも本町は本当に安心・安全な町だと思ってもらえるのでは。

**町長** 町民全体の安心・安全を考えると、子どもから高齢者まで、全ての町民の命を守ることに大事だと考えている。補助要件の見直しを考えた。

**問** 第一次産業従事者の疲弊が危惧されているなかで、「最後は食料生産地である本町が勝つと思う。」と言っているが、その根拠は。

**町長** 今は経済最優先・費用対効果という考え方をこの国は選択しているが、カロリーペー

スで食料自給率が38%というのはいびつだと思っている。都会がどんなにすばらしくても、食料がなくなったら一番被害が出てくる。

本町は水もあるし、空気もある。食べ物もあるし、燃料もある。第一次産業を大事にしたら生き残れるという意味である。

**問** 「人口を増やすことを目的にする施策は良いとは思わない。」の意図は。

**町長** トップは将来にわたってお金を使った、投資したりということについて、本当に責任があるという理解のもとに、町長職務を遂行している。

イタリーの失敗例もいろいろ見ている。そのような施策を、現在必死に税金を納めてもらっている人に負担してもらってまで行おうとは思わない。

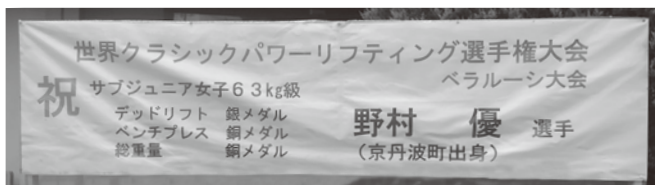


# 生活再建型滞納整理の導入を



山崎 裕二 議員

## 町長 新たな方策として研究していく



役場前の特設看板とCATV特集番組

**問** 債権管理との関連で、滞納者などの生活困窮状況の把握を。

**町長** 「南丹保健所生活困窮者自立支援推進会議」などを通じて、生活困窮者の実態把握と支援に努めていく。

**問** 滞納者が借金で困っている状態が確認できた場合、債務状況を確認の上、弁護士などに誘導して債務整理を行い、過払い金の返還回収金で生活建て直し

を図るとあわせて、滞納金納付につなげていく生活再建型滞納整理の導入を。

**町長** 各種相談窓口開設事業の活用とあわせて、今後、新たな方策として研究していく。

### ジュニアトップアスリートの支援を

**問** 町内在住で、かつ国際・全国大会でトップクラスのジュニアアスリートの詳細は。

**教育長** 高校3年男子

が日本カヌースプリントジュニア選手権カナディアンペアで準優勝、高校3年女子がパワーリフティング世界選手権で銀メダルを受賞されている。

**問** 国際・全国大会出場にかかる費用は。

**教育長** 補助対象となっていない競技では把握できていない。

**問** 町内在住ジュニアトップアスリートの活躍がもたらす効果は。

**教育長** 希望、活力、元気を与えていただいていると考えている。

**問** 町内在住ジュニアトップアスリートへの経済的支援を。

**教育長** 現在のところ、検討していない。

### こども園利用料の無償化実現を

**問** 新設する認定こども園費の見込みは。

**教育長** 維持管理経費は可能な限り抑えられ

るようにしたい。

**問** こども園開設と並行した利用料無償化を

### 教育委員会 提出書類の再点検を

**教育長** 現時点で無償化は考えていない。

**問** 食物アレルギー診断書・除去指示書の様式を新たな療養などに

対応したものに変更を。  
**教育長** 新療法の動向などの把握にも努め、こういった様式への変更が可能なのか、調査研究を始めた。

### 要望集約の仕組みは

**問** 区や自治会・各種団体などによる要望書提出、語るついででの対話以外に、要望を集約し、対応していくための仕組みは。

**町長** 企画政策課で受け付け、とりまとめし、区長さんを通じて回答している。地域支援担当も伺った意見の調整を担当課と行っている。





村山 良夫 議員

# 一般会計2年連続黒字は 財政健全化の証しか

## 町長 健全化の一つの指標である

**問** 自治体の会計制度は予算が不足すれば補正を組む。補正が組めない時は基金がないか起債ができない時であるため、2年連続の黒字は、健全財政の証しにはならないのでは。

**町長** 健全化の一つの指標である。

### 自主再建に50年

**問** 丹波地域開発(株)の直近の決算では、当期利益が600万円、繰越欠損額が2億9800万円となっている。単純計算では50年もの歳月が必要となるが、自主再建といえるのか。

**町長** 欠損金は利益が出れば減っていく。

**問** 1億2800万円の借地権が資産に計上されている。権利と義務を記した借地権契約書も義務者も存在しないと聞く。償却済み資産として、早期に損金処理すべきでは。

**課長** 借地の造成費で

あり、税法上は非減価償却資産である。

### 新庁舎建設で34億円にプラスアルファ

**問** 拡幅工事が中断している町道は、庁舎完成までに完了する必要があるのでは。その工事費は。

**町長** 拡幅工事は新庁舎の完成に合わせて整備する。工事費は約6億円を見込んでいる。

**問** 予定地は里山の景観をなしている。新庁舎用地として造成工事をすれば、現在でも雨水問題のある地域で、さらなる問題が生じないか。雨水対策費用は。

**町長** 貯留施設や排水路などを検討している。工事費は今後、基本設計などを経て算出していく。

**問** これらの工事は新庁舎建設予算に含まれているのか。

**町長** 新庁舎予算には含んでいない。

### 普通交付税は予算より5千万円の減

**問** 29年度の当初予算は、合併特例期間や国の財政状況を加味して編成したはず。普通交付税5千万円の減は、交付税が歳入の半分程度を占める本町にとって深刻な問題では。

**町長** 水道事業会計が公営企業会計に移行したことにより、特別交付税措置に振り替えら

れたことによるものである。

**問** 財政状況を示す指標では、財政力指数、住民1人当たりの借金額、実質公債費比率は、府下26自治体の中でも極めて悪い。今回示された長期計画では、実質公債費比率が33年度で起債を制限される18%を超えるのでは。

**町長** 18%以上にならないようにするのが経営である。



新庁舎建設予定地の周辺整備を(ふれあい広場)



# 就学援助の 入学前支給をすべきでは



森田 幸子 議員

## 教育長 引き続き改善に向けて調査・研究を進める



仲良く登校するひかり小の児童(須知地内)

**問** 小学校入学準備に多額のお金が必要となる。子どもの貧困対策の観点からも、就学援助費を入学前に支給すべきでは。

**教育長** 保護者の利便の立場に立てば支給が早いことが望ましい。引き続き改善に向けて調査・研究を進める。

**問** 中学1年生については引き続きの手続きとなる。入学前支給に取り組むべきでは。

**教育長** 実施するならば、小・中学校同時に行う。

**避難所の  
早急な計画策定を**

**問** 災害時の避難所の運用計画が重要である。本町の計画策定は。

**課長** 個々の避難所の運営については、まだ策定をしていない。

**問** 運営についてはいつ検討されるのか。

**課長** 今後詳細な計画も速やかに整えていく。

**問** 二次避難所に断水時でも利用でき、段差がなく誰でも利用しやすいマンホールトイレの整備を。

**町長** 現状では予定していない。

**問** 高浜原発から30km圏外の町民にも、原子力災害についての説明会の開催を。

**町長** 全町には原子力防災のしおりを配布した。今後も同様の対応を考えている。

**問** 段ボール会社との災害協定の進捗は。

**町長** 引き続き検討する。

**問** 災害時にどう動くべきか、何をすべきかを冷静に判断することは極めて困難である。各自が防災に備える意識を高めるためのチェックシートを配布する考えは。

**課長** 身近なところで防災意識を高める啓発をする。チェックシートについては研究する。

**介護人材不足の対策を**

**問** 介護人材不足に対応する町の対策は。

**町長** 町内福祉施設に勤務する方の介護福祉士の資格取得や介護職員初任者研修の受講料、また施設に対して人材確保にかかる必要経費を助成する制度を創設する。

**乳がんの  
乳房タイプ通知を**

**問** 検診で使われているマンモグラフィでは、乳腺もがんも白く映るため高濃度だと見分けにくい。病気ではないが高濃度乳房と判定された場合、がんの見逃しリスクが高くなる。乳房タイプ通知を行う考えは。

**町長** 厚労省において、高濃度乳房と判定された受診者に通知する体制を整備する方針が決定された。国の指針に沿って対応する。



篠塚 信太郎 議員

## 新庁舎の面積規模を再検討し 全体事業費を削減すべき

**町長** 基本設計でコスト削減や最適な規模を確定していく



新庁舎建設予定地(ふれあい広場)

**問** 新庁舎の面積規模は、将来人口、配置する部署や会議室機能を再検討し、全体事業費を削減すべきでは。  
**町長** 基本設計を進めるなかで、コスト縮減や最適な規模を確定していく。  
**問** 400㎡という大きな会議室でなく、用途に応じた室数を増やす計画にすべきでは。  
**課長** 今後、基本設計で最適なものとしていく。

と考えているが、緊急時の避難部分も含めた設定となっている。  
**問** 主体構造は耐震性を重視し、階層については2階建て以上も検討すべきでは。  
**町長** 基本設計で具体的な構造階層を検討する。  
**問** 生産森林組合から拠出された木材を、新庁舎に活用を。  
**町長** 京丹波森林組合と協議を重ねたい。

蒲生野団地の管理と全戸リニューアルを

**問** 蒲生野団地24戸のうち、半数以上が空き家である理由は。  
**町長** 新たな入居もあるが退去者もほぼ同数あり、半数以上が空き家となっている。

**問** 蒲生野団地の募集方法は。  
**課長** 随時募集をしているので、改めて募集はしていない。今後はホームページなどで周知する。

**問** 蒲生野団地は立地条件も良く、全戸リニューアルし、入居者を増やすべきでは。  
**町長** 公営住宅長寿命化計画の見直しを行い、必要な工事を計画的に実施したい。

**問** 蒲生野団地の外構及び周辺は、雑草が繁殖している。清掃は管理者が行うべきでは。  
**町長** 団地周辺の竹の伐採や除草は実施して

いるが、団地内の清掃は一定の管理費を支払い、入居者で管理をお願いしている。

非正規職員の待遇改善を

**問** 非常勤国家公務員には、来年度より勤勉手当が支給される。嘱託職員に勤勉手当を支給すべきでは。  
**町長** 地方公務員法などの改正により、32年4月より正規・非正規の賃金格差を是正する同一労働同一賃金に向け、再整備を行う予定である。来年度から嘱託職員の勤勉手当を支給することは考えていない。

**問** 非正規職員に退職金を支給すべきでは。  
**町長** 新制度に移行後、一定期間以上勤務の会計年度任用職員には退職金を支給することを検討するので、現時点では、非正規職員に退職金の支給はしない。



# 今回配布予定の 防災マップの活用法は



山下 靖夫 議員

## 町長 災害時の避難や防災学習など幅広く活用する



平成20年に作成された防災マップ

**問** 防災マップは平成20年に各戸配布されており、不備な点を見直し、今回改訂版を配布される予定であるが、配布時期は。

**町長** 落札業者と契約を終え、来年度当初に町内全戸に配布する予定である。

**問** 防災マップの活用について前回は各集落へ説明があった。いくら立派な防災マップを配布されても、一度見

たぐらいでは理解できず、有事の際の対応が難しいのではないかと。今回の防災マップの活用計画を問う。

**町長** 町民のみなさんに災害リスクの高い箇所、避難情報などを確認していただき、災害時の避難や防災学習など、幅広く活用いただきたいと考えている。

**問** 東日本大震災による津波で多くの犠牲者が出たが、日ごろから

避難訓練をしていた学校では、生徒全員が助かったと聞く。防災マップの配布を機会に、どのような避難訓練を実施するのか。

**町長** 今まで積極的に続けてきたとおり、避難訓練を実施していきたい。原子力発電に関わっての避難訓練は、該当する所から始めており、二巡、三巡の訓練はあり得ると思う。

### 限界集落への支援は

**問** 限界集落数と、今後の支援は。

**町長** 学識者が「限界集落は総人口に占める65歳以上の割合が50%を超え、集落共同体の存続が危ぶまれる集落の状態」と定義している。本町でこの定義にあてはめると、現在27集落となる。集落という身近なつながりを継続していくには、環境を整備保全することなど個別の要望に対応

することが大事である。複数の集落で連携しながら小集落の負担軽減、地域行事の継続など、自主的に活動している住民組織などの支援をしていく。

### 今後の雇用のあり方は

**問** 町内では安定した職場が少ない現実がある。「雇用関係は分けても、みんなが気張って仕事をするといい社会にしたい」と言われているが、どういうことか。

**町長** 日本の雇用関係というのは、今まで終身雇用であったが、誇れた独自の雇用文化が失われつつある。本町では兼業農家という言葉が残るよう町政運営をすべきで、生産した人が加工もして販売もする、いわゆる兼ねるということが本町の雇用を守るうえで大事だということである。



坂本 美智代 議員

# 教材費の負担軽減を

## 教育長 教育的観点からも考える必要がある



安心して通える学童保育施設を(旧松山保育所)

**問** 新入学時に買いそろえる学用品などは保護者にとつて多額の出費となる。算数セットなど短期間しか使用しない教材などは、児童が共有して使う備品として学校に備え付けてはどうか。物の大切さや保護者の負担軽減にもなると考えるが。

**教育長** 個人の教材であるべきかどうか学校の現場の意見を聞き、改めて教育的観点からも検討する必要がある。  
**問** 保護者の負担軽減として、学童保育の負担額を同一家庭で2人目以降を半額に見直す考えは。

**教育長** 近隣の状況も参考に研究したい。  
**問** 学童保育施設1組と2組の建物は老朽化しており、安心・安全面からも早期に整備検討すべきでは。

**町長** また、和知小学校のように校内での実施が望ましい保育の体制では。  
**教育長** 1組と2組の施設上の課題は承知している。学童保育のあり方については総合的に考えていかなければならない。  
**問** 就学援助の支給時期の見直しは京都市や南丹市も実施する。国においても就学援助の活用、充実を図ることとされていることから、見直しの実施を。

**教育長** 認定や手続き上の課題整理など問題を点を教育委員会内部で検討していきたい。  
**多子世帯への補助を**  
**問** 多子世帯への補助として第2子以降の給食費を半額にする考えは。また、軽減措置をした場合の試算はいくらか。

**教育長** 現在は考えていない。小・中学校あわせて700万円程度と試算している。  
**町長** パトロールはできていない。基本的には所有者で実施すべきである。今後、適正な維持管理方法について研究していきたい。  
**課長** 通行に支障がある場所や所有者が特定できない場合は、町で伐採を考えている。

### 町道の維持管理は

# 介護サービスを抑制すべきでない



東 まさ子 議員

## 町長 一番大事なことは制度の維持である



第7期介護保険事業計画の検討は進んでいるか  
(瑞穂保健福祉センター)

**問** 町独自の事業として開始した総合事業は、これまで要介護認定で要支援1、2と判定された方への訪問介護、デイサービスの提供のあり方、報酬額を変更するものである。本町は順調に移行したとしているが検証されたか。

**町長** 事業所に移行後も指定や委託などを受けていただき、利用者の方も混乱なく利用いただいている。

**問** 総合事業の対象者

は基本チェックリストで簡易に判定できるが、本人の実態などの確に把握するため、専門家による介護認定をすべきでは。

**課長** 希望されるサービスにより個別に対応している。

**問** 障害者福祉サービスを利用していただく方が65歳になると、「介護保険優先原則」により介護保険が適用される負担増や生活を支えるサービスが限定される

状況は起きていないか。

**課長** 利用限度のある介護保険の適用で不足するサービスは、障害福祉サービスを上乘せして使用できる。利用料も緩和している。

**問** 国は、生活援助に対する介護報酬の見直し(削減)を検討している。本町最大の雇用の場である介護事業所への支援が必要では。

**町長** 研修費など支援はしているが、報酬の補助は考えていない。

**問** 国は要介護認定率を下げれば自治体に財政支援をするとしている。必要なサービスを抑制するような計画はしないと約束されたい。

**町長** 一番大事なことは制度の維持である。

**問** 現行の介護保険料は府下でも高い。次期計画でさらなる引き上げはないか。

**町長** 保険料の見込みは算出できていない。

### 平等負担の原則に違反

**問** 丹波地域開発(株)に対する6億700万円の経営支援は、経営の効率化や合理化に取り組むべきとした総務省指針からも公共性、公益性が問われているが。

**町長** 公共性、公益性の観点から、行政の責任として支援策を講じた。

### 暮らし応援へ改革を

**問** 合併特例終了による交付税の減少額は。

**町長** 当初の11億5400万円から約6億円となった。

**問** 現在の職員数は。

**課長** 定員適正化管理計画では285人のところ、277人(合併時約360人)である。

**問** 交付税の減少緩和分を、非正規職員の処遇改善、町民の暮らしのために使うべきでは。

**町長** そのようにしてきた。



山田 均 議員

# 30億円も借金しての 新庁舎建設は見直しを

## 町長 住民の暮らしに大きく影響することはない

**問** 新庁舎建設に向け、設計や既存施設の撤去の取り組みが進められているが、町の財政見通しを見ると実質公債費比率が33年度から18%を超え、37年度には19%を超えることになっている。また、過疎自立促進計画では、今後5年間で108億円を超える事業規模、さらにスマートインターチェンジや火葬場建設費負担なども予定されている。新庁舎建設費の見直しが必要では。

**町長** 全く無策で推移したらそういうことになるが、そうならないように指示を与える。

**基幹産業の農林業を  
まちづくりの基本に**

**問** 担い手育成強化は、認定農業者、営農組織とあわせて、各集落の意欲ある農業者への支援が必要では。

**町長** 個人への支援は難しい。農家組合や農

家同士の共同利用に対して支援をしたい。

**問** 新規就農者対策は、福井県若狭町のように就農希望者の受け皿をつくり、地域の担い手にも位置づけて、農業公社で研修生として受け入れるなどの取り組みを。

**町長** 若狭町の取り組みは大変良い先進事例であり、今後、農業公社の統合と合わせて取り組みを考えたい。

**問** 特色ある米づくりで、8000円(30kg)以上で販売するための方法を考えるべきである。耕作放棄地対策としても水稲栽培が効果的では。

**町長** 水稲栽培は耕作放棄地の増加を防ぐ方法として有効である。高価格で販売するためには

**京丹波町財政見通し**  
**【平成28年度～平成38年度】**

**平成29年3月**

基金ゼロ、実質公債費比率19%を示す  
財政見通し資料

有機農法や特別栽培米、食味、販売方法も考えていくことが必要である。

**問** 有害鳥獣駆除隊員には町長が許可証を交付しているが、猟友会支部が駆除停止の決定通知を出している。権限移譲はできるのか。また、駆除報償金は公金であり、厳格な取り扱いが求められる。町の責任で個人に

**猟友会支部が駆除停止  
の決定をできるのか**

直接支払うべきでは。

**町長** 許可権限は移譲できない。

**課長** 報償金は直接個人への支払いを協議している。

**問** 水道は生活の基本であり、高齢化や一人暮らしなどが進むなか、10トンの基本水量を5トン、8トンと見直しが必要では。

**町長** 水道事業として維持することに努力していきたい。

**基本水量の見直しを**

# 農業再生のカギは



岩田 恵一 議員

## 町長 自然環境を守ることと担い手確保などが重要



機械共有化で農村再生を目指す地域の組織

**問** 新規就農者の経営実態は。

**課長** 経営は厳しい状況にあるが、国の青年就農給付金や町の後継者育成事業の活用で経営基盤の強化に取り組んでいる。

**問** 新規就農者が定職するには、その受け皿である体制や環境整備が必要だが。

**町長** 府など関係機関と連携し就農者のニーズ、受け入れ規模や地

域を紹介している。また、技術習得から就農まで一貫して支援し、

実践的な研修を行う担い手育成実践農場整備支援事業を活用している。住居は空き家バンク制度で確保している。

**問** 耕作放棄地の解決策は。

**町長** 発生を未然に防ぐためには地域での取り組みが重要であり、人と農地の課題を話し合う京力農場プランの

作成を推進している。

**問** 法の改正による農地利用の最適化の推進に伴い、農業委員会と行政の取り組みは。

**課長** 最適化推進委員の選考に合わせ、京力農場プランの中で地域の5年後、10年後先について積極的に話を進めていきたい。

**問** 農地中間管理機構（農地バンク）の活用状況と見通しは。

**課長** 集落営農組織や担い手認定農家が農地集約している地域に、府、JAとともに京力農場プラン作成と合わせ、中間管理機構の推進に努めている。

**問** 地域農業を守るには、集落営農組織を基盤とした小規模組織（農家組合など）の積極的な機械化・共同化に対し、支援の拡充をすべきでは。

**課長** 該当地域の要望を受けたなかで、国・府・町補助金を有効に

活用していただきたい。

**問** 農業・農村の将来を危惧するなかで、農業再生のカギは。

**町長** 自然豊かな森林から得た水を守り利用すること。あわせて、担い手確保、施設の維持・改善、有害鳥獣対策などの体制整備が重要である。

### 買い物支援対策を

**問** 丹波マーケス配置の買い物支援バスの利用促進を図るべきでは。

**課長** 丹波・瑞穂地区サロン利用者となっているが、丹波地域開発（株）において広く利用促進に向けPRしている。

**問** 移動販売車など、経産省補助での実現は。

**課長** 有効な制度を利用し、買い物支援に取り組みたい。

**問** 町営バス利用の高齢者を対象に、買い物支援無料パスや回数券を発行しては。

**町長** 今後検討したい。



# 閉会中の委員会報告

## 産業建設常任委員会

7月5日に開催し、所管事業の現地踏査を実施した。

### ● 上升谷橋橋梁補修工事

施工中において、工事内容に変更箇所が生じたため2回の変更契



完成間近の上升谷橋橋梁補修工事

約が発生した。請負金額841万3640

円に236万4120

円を追加し、8647

万7760円に改め、

工期についても7月31

日に変更し完成した。

### ● 畑川浄水場

#### 高度浄水処理施設

本年1月の降雪によ



完成した粉末活性炭貯蔵室内(畑川浄水場)

り、屋外工種の工程に不測の日数を要したため、工期を3月17日から3月28日に変更し完成した。事業費は2億

7504万2520円である。

踏査終了後、契約変更後の工事内容について説明を受け、現状などについて質疑、意見交換を行い、今後における施設の効果に期待して閉会した。

## 議会活性化特別委員会

当委員会は、議会活性化に向けて会派代表者会議などでの協議を踏まえた合意事項の取りまとめをするにあたり、議会活性化の取り

組みで全国の先進事例として紹介された京都府精華町議会への視察研修を7月19日に実施した。

### ● 精華町議会視察研修

精華町議会は、議会及び議員活動の活性化と充実のため、開かれた議会の実現として①町民参加・町民との協働、②情報公開・説明責任、③議会権能の発揮、④政策提言・提案の4つを柱として取り組んでいる。

議会の活性化・改革は、議会のためではなく住民のためとの立場で取り組んでいる。

その原点は、地方自治法第1条で定める



精華町役場での研修

「地方公共団体における民主的にして能率的な行政の確保を図るとともに、地方公共団体の健全な発達を保障することを目的とする」ことにある。

議員はお互いの立場の違いを尊重しつつ、町民の共通利益分野では知恵を出し合い、行政に迫る活動スタイルの確立を目指しているなどの説明を受け、意

見交換を行った。

こうした先進事例に学び、当委員会は、議会基本条例の制定を視野に入れながら、議会改革・活性化に一層取り組みを強めること。

また、これまで一致できた内容を「申し合わせ事項」「会派及び会派代表者会議設置規程」として策定し、次期の議会に引き継ぐことを確認した。



●研修会の実施

9月8日、国土交通省近畿運輸局京都運輸支局から運輸企画専門官2人を招き、研修会を実施した。

町営バス運行の根拠となる「家用有償旅客運送」など、次の2点について確認した。

- ①町内の一般旅客事業運送事業の路線バス、タクシーを継続運行させることの重要性。
- ②町営バスとの路線競合はできない。



JRバス京丹波営業所(橋爪地内)

サービスを含め、高齢者などの生活支援のため、より福祉的な交通網対策を調査研究していく必要がある。

また、介護保険法改正に伴い、地域ボランティアによる運輸局の許可を要しない新たなサービスが、今年度中に実施可能となるなどの説明を受けた。

●調査報告のまとめ

9月12日に開催し、委員会報告の取りまとめを行った。要旨は次のとおりである。

今後においては、児童・生徒のスクールバスとしての機能を保持したうえで、現在町で実施している外出支援サービスを含め、高齢者などの生活支援のため、より福祉的な交通網対策を調査研究していく必要がある。

臨時会

8月8日、第2回臨時会が開催されました。一般会計補正予算など3件が提案され、全議案を可決しました。

主な質疑・討論

条例の制定・改正

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、新たに定数を定めるもの。〔賛成12 反対3〕  
問 今回の改正による農業委員の選出方法に変更はあるのか。また、推進委員についてはどうか。  
〔課長〕 農業委員は議会の同意を得て、町長が任命する。推進委員は農業委員会が委嘱することとなる。

問 農業委員定数19人の、担当地区の割り当て基準は。  
〔課長〕 農業委員で検討され、最も動きやすい形でそれぞれの面積、申請の状況なども考慮したうえで割り当てが提案された。

反対討論 山田 均 議員

任命制は、農民の代表機関の権限を弱め、町長などの行政機関の恣意的な選任や行政の下請けが懸念される。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

農業委員会の会長、職務代理及び委員の報酬の額を見直すとともに、農地利用最適化推進委員の報酬の額を定めるもの。〔全員賛成〕  
問 特別職報酬等審議会委員の構成は。  
〔課長〕 今回の審議会委員については、学識経験者、農作業受託などの現場で活動されている方を選任した。

〔課長〕 新庁舎の建設と並行して実施する。建設費の削減も考えながら、全体的な事業費が膨らまないように調整していく。

一般会計補正予算  
主なものは、新庁舎建設設計業務委託費において、委託期間が翌年度にまたがることか

ら、翌年度に支出が見込まれる事業費について、一旦減額し、債務負担行為として新たに計上するもの。  
〔賛成12 反対3〕  
問 新庁舎建設に向けた今後の計画は。  
〔課長〕 業者選定の段階であり、業者が決定すれば、庁舎の具体的な中身などについて協議しながら、設計を仕上げていく。  
問 新庁舎の建設予定地周辺の排水対策、道路拡幅工事の実施と経費は。  
〔課長〕 新庁舎の建設と並行して実施する。建設費の削減も考えながら、全体的な事業費が膨らまないように調整していく。

反対討論 東 まさ子 議員  
予算執行過程は明確であるべき。年度内に執行できない場合は繰り越しが基本、予算不足は補正で対応を。



議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

## あれから どないなっとるんや〜?

**問** 畑川ダム周辺整備事業の計画と進捗状況は。

### 町長

公園事業が補助対象外となり、府と調整し他の補助を活用する。現地での測量は完了しており、今後、用地測量の準備を進めていく。

**問** 小・中学生の通学バス代を無料化すべきでは。

### 教育長

無料化に向けて検討する。



### こうなった!

土地所有者との境界立会いが行われ、用地の取得に向けて一歩前進した。



用地境界立会いの様子

### こうなった!

29年度より予算化され、無料化となった。



スクールバスを利用する児童たち



# 地域の「かけはし」になれば 「質美笑楽講 絵本ちゃん」

質美中村区在住 谷 文絵さん



今回は、旧質美小学校（質美笑楽講）で「絵本ちゃん」を開いている谷 文絵さんを紹介します。

マンモス校で育った私は、平日頃から子どもたちには自然豊かな地と小規模校でのびのびと通学させたい思いでいました。

―質美に居住された経緯は。―  
京都市出身で、主人の実家がある質美に16年前に子どもの入学を機に帰省しました。

―絵本ちゃんを始めたきっかけは。―  
高校時代から人形劇など児童文化に触れることをライフワークにしており、小児科病院や保育園などで絵本の読み聞かせを行っていました。

こちらに帰り、同様のことが出来る機会や場所を探していたところ、質美小学校の閉校に伴う校舎の活用策の検討がなされ、真っ先に手をあげました。

―絵本ちゃんを通してやりたいことは。―  
地域が楽しい自分も楽しい、合わせて暮らしやすい地域になるよう、場所の提供とつながりをつくりたいと思っています。



地域の「かけはし」になればと話す谷さん

また、情報発信しながら民間からできる、取り組めることができたいと思います。

―お客さまの反応などは。―

地域住民が集い、安らげる空間づくりに努め、お互い気楽に声かけができる場所として活用いただいています。

―今後の抱負、夢とは。―

みんなが集い、くつろぎとゆとりが持てる場所の提供をし、Uターンされる方が気さくに帰省できるお手伝いができればいいなあと思います。

(記者 岩田)



にぎわう店内の様子

## 議会の傍聴に おこしくください

手続きは受付簿に住所・氏名を記入するだけです。

次回の12月定例会の日程については、11月末の議会運営委員会で決定されます。

## 編集後記

今議会構成においての「議会だより京丹波」の発行は、任期満了によりこの第54号で最後となります。

委員全員が、「議会の情報をできるだけ正確に、たくさん伝えたい」という思いと、「文字がびっしりつまっていたら読みづらいだろうな」という気持ちに挟まれながら、侃々諤々の編集作業をしてまいりました。

難しい（と思われる）議会の内容をわかりやすくお伝えできましたでしょうか。

次期の広報委員がより親しみやすい紙面づくりに励んでいただくことを期待し、今後発行される「議会だより京丹波」を楽しみに、筆を置かせていただきます。

(北尾)